

(報道発表資料)

2024年7月30日

宮津市

西日本電信電話株式会社 京都支店

「宮津市における地域共創社会の実現に向けた連携協定～共につなぐ未来への架け橋～」の締結について ～宮津市における持続可能な地域共創社会の実現に向けて～

西日本電信電話株式会社京都支店（支店長：横田さくら、以下「NTT 西日本」）は、宮津市（市長：城崎雅文、以下「宮津市」）と、「宮津市における地域共創社会の実現に向けた連携協定～共につなぐ未来への架け橋～」を締結しました。

今後、2者が連携し、宮津市における地域課題の解決と、持続可能な地域共創社会の実現に向けて取り組みます。

1. 背景と目的

宮津市では市制施行の65年間で53.7%の人口が減少し、人口減少、少子高齢化が進行しています。またそれに付随して地域経済の低迷や交通・医療の確保維持、地域コミュニティの担い手不足等が課題となっています。

このような課題に対応するため、宮津市では2021年5月に「第7次宮津市総合計画」を策定し、重点プロジェクトとテーマ別戦略を設定して課題解決に向けた具体的な方策を検討・実施しています。

今後、宮津市総合計画のさらなる推進のため、宮津市とNTT 西日本は人材、知識、情報などの資源を有効活用して持続可能な地域共創社会の実現をめざしてまいります。

また本年は具体的な施策として、宮津市の公共交通確保・維持や地域住民のラストワンマイル確保、運転手不足等の課題に先進モビリティ技術を活用すべく、国土交通省の補助事業を活用して「宮津市における自動運転の実証・実装に向けた調査事業」を実施します。宮津市における自動運転技術のニーズや実現可能性を検証し、将来的な先進モビリティの導入を検討し、地域住民の足を絶やささない、持続可能な公共交通の構築をめざします。

2. 連携協定の概要

(1) 目的

「宮津市総合計画」を推進するにあたり、それぞれの持つ人材、知識、情報などの資源を有効活用して、持続可能な地域共創社会を実現させるため、相互に協力研究し地域の発展に寄与するために検討及び事業計画時に連携を図ります。

(2) 連携事項

宮津市と NTT 西日本は次の事項について、連携し協力します。

- ① 地域課題の解決・各施策の新たな展開に関すること
- ② 住みたい、住み続けたいまちづくりに関すること
- ③ ICT 等を活用した地域活性化推進に関すること

3. 各者の役割

- ・宮津市：課題設定、関係者の調整、フィールド提供
- ・NTT 西日本：課題に対する提案や他自治体の取り組み動向等の情報提供

4. 連携協定締結日

2024 年 7 月 29 日（月）14 時

宮津市役所 3 階応接室



左から NTT 西日本 京都支店長 横田 さくら、宮津市長 城崎 雅文

5. 今後の展望

本協定の締結を契機とし、宮津市と NTT 西日本双方のアセットを相互連携させ、宮津市における共創事業や ICT 技術等を通じた地域課題への対応、地域社会の活性化に向けて各種具体的な取り組みを進めてまいります。

【本件に関するお問い合わせ先】

西日本電信電話株式会社 京都支店 ビジネス営業部

エンタープライズビジネス営業部門 公共営業担当

TEL : 0773-25-2213 (平日 9:00~17:30 (土・日・祝・年末年始 (12/29~1/3) を除く))

※電話番号をお確かめの上、お間違えの無いようにおかけください。

審査 24-S525